

B-I-MAGMA

旭川広告デザイン協議会会報

vol. 16

aadc

ASAHIKAWA
ADVERTISEMENT
DESIGN
COUNCIL.



波乗りクリエイター…今日も行く。

旭川
MAEMA
旭川広告デザイン協議会
会長
やはずのよしゆき

平成元年に小野慶治名誉会長の呼びかけで、旭川を拠点とするクリエイターが個々の感性や技術の向上を図り、地域社会へ向けて広告デザインの仕事や価値をアピールし、理解してもらおうという考え方を元に発足。その後、前伊藤友一会長がリトンを受け、デザイン関係団体としては初めての、平成15年度北海道産業貢献賞という名誉ある賞をいただくまでに育った旭川広告デザイン協議会。その先代達がしっかりコツコツ積み上げてきた実績と名誉を汚すことなく、両会長が育ててきた熱い想いを忘れずに、ひとりひとりが自分に対し厳しく、自分の持つ力を試しながらクリエイティブ力の向上を目指す会になるよう、微力ながら後ろから後押しさせていただければ……と引き継ぐことになったこの1年でした。会のみんなも同様のことと思いますが、まずはひと休みしながらと思いつつも、ただただ手探り状態のまま何もすることができず、今まで両会長が作った波に乗っただけで、アツという間に過ぎ去ってしまった1年のように感じます。

しかし、本年度は地域、企業、学校、各種団体、研究機関など、さまざまな異業種・異業態が共通意識を持ちながら連携し、それぞれの分野で「デザインスピリッツ」を高め合い、新しいものづくりを目指すという主旨の下、旭川市と旭川デザイン協議会、そして旭川広告デザイン協議会が主体となった「旭川デザインマンス」という大きな事業が行われます。

これは20世紀初頭のドイツで、家具、金属、陶器、織物、印刷から建築に至るまで幅広く新しいデザインを追求し、モダンデザインの源流をつくり、現在の建築やデザイン、美術教育に多大な影響を与えている造形学校バウハウスで生まれたデザインの展示会を柱に、国際家具デザインフェア旭川2005をはじめ、三都市デザイン会議などさまざまなデザインの催しが6月14日から7月いっぱいまで展開される新たな事業です。私たちのaadcもその「バウハウス2005 現代に生き続けるデザイン」という展示会のポスター募集からポスター展まで携わることになり、旭川では今までにないほどのデザインがこの1ヶ月の間に凝縮されることとなります。

そしてその事業の中、私たち旭川広告デザイン協議会も昨年度の自主的な事業とは異なり、いろいろな意味でのチカラを試される年となることでしょう。本年度はこの「旭川デザインマンス」という新たな事業をキッカケに、今までaadcが培った歴史というものベースとして、人やまちや企業に果たせられる役割を考えながら、会員ひとりひとりが波を作り、そのひとつひとつのクリエイティブパワーの波を結集して大きな津波にしたいと考えます。広告デザインの世界ばかりでなく、いろいろなデザインと交流できる「旭川デザインマンス」。広い意味で違った視点からデザインを見れば、きっと「参加してよかった。楽しかった。」と感じる1年になるはずだと……思います。



ふりヒタのNEXT

明日はどっちだ!

date: 2005.3.27 place: デザインたち

aadc
今津 秀邦さん カスマン(カラー工務社)
鈴木 歩さん デザイナー、イラストレーター(富貴堂メガ印刷)
竹田 貴治さん デザイナー(北海道地図デザイン印刷局)
久留嶋美子さん デザイナー(デザインビクス印刷)

student
石塚佐里さん 教育大学旭川校大学院2年 デザイン専攻(旭川出身)
高橋秀香さん 教育大学旭川校4年(旭川出身)
森川 瞬さん 北海道東海大学5年 デザイン学科4年(函館出身)
大德里美さん 北海道東海大学5年 デザイン学科4年(函館出身)

Chairperson
勝浦恭子 コーディネーター(フリー)

aadcの今年度の展示会のテーマが「NEXT」だったこともあり、じゃあ、旭川のクリエイターのNEXT世代は、私たち現役のクリエイターをどのように見て、どんなことを考えているのだろうと、座談会を企画しました。会員の久留嶋さんの実家がある秋田県から送っていただいた本場のきりたんぼ鍋をつつきながら、和気あいあいの中で話は多岐に渡りました。

デザインマインドの出発点はどこ?

司会

本日はお忙しいところをお集まりいただき、ありがとうございます。まずは、簡単な自己紹介をお願いします。

鈴木 1週間のうち、半分ずつ仕事をしています。半分はデザイナーで、半分はマルカツの富貴堂メガで仕事をしています。時にはレジにもいますので、どうぞいらしてください。

大徳 東海大学4年で、「BANA」という、物づくりサークルの部長をしています。

森川 東海大学4年です。将来はデザインにかかわる仕事をしたいと思っています。春休みも、就職のために毎日学校に行っています。気になる会社などをチェックして、エントリーシートを書く段階です。

竹田 北海道地図のデザイン課に勤務しています。出身は函館ですが、札幌の教育大学の特設美術科を出て、旭川で現在の会社に勤務しました。社会人になってちょうど10年目です。6年くらい前から、aadcの会員になって、デザインについて考えたり、デザインに関わる人たちと交流して刺激を受けたりしています。





Akumi
Suzuki



Satomi
Ootoku



東海大学のモノづくりサークル「BANA」の部長として企画・運営・展示・販売などの活動をしている



Sumika
Takahashi



DJによるライブ・パフォーマンスや、個々の表現を自由に展示する企画展「green」を開催

デザイナーマインドの出発点はどこ?

高橋 教育大学の4年です。ちょうど今、教育大学や東海大学の学生などと一緒に「green」という企画展を計画しています。ぜひ、足を運んでください。

久留嶋 デザインピースでデザイナーとして、仕事をしています。出身は秋田県ですが、大学で旭川に来て、そのまま居着いてしまったというか、旭川に来て、かれこれ10年位になりました。

石塚 教育大学の大学院に通っています。学部のと時からデザインを専攻していますが、大学院では、おもちゃの研究と制作をテーマにしています。

司会 あともう一人、カメラマンの今津さんが出席してくれる予定で、今こちらに向かっていていると思います。

皆さんは、それぞれデザインや美術についての勉強をしていらっしゃいますが、将来どんな仕事をしたいと考えているのでしょうか。

森川 グラフィックに限らず、パッケージやサインなど、幅広くデザインにかかわる仕事をしたいと思っています。そういうふうやっていける会社を探しています。

司会 そのときに、地域はこだわりますか?旭川とか、あるいは東京とか?

森川 バリバリ仕事をしながら力を付けたいので、まずは東京方面で就職したいと思っています。

司会 いつごろから、デザインの仕事に就きたいと思ったのですか。

森川 僕はすごく遅くて、大学に入ってからなんです。イラストレーションに興味があって東海大学に入ったんですけど、たまたま松永 真さんの「デザインの話」という本を読みまして、デザイナーの仕事というはとても幅が広いんだなと思い、すごく刺激を受けました。その上、普段自分が使っていて「いいな」と思っていたデザインは、ほとんど松永さんがデザインしていたことがわかり、すごいなと思って、そういう身近なものをデザインする仕事をしたいと思うようになったんです。

司会 松永 真さんは、以前aadcでも、旭川にお招きして講演をさせていただいたことがあるんですよ。

森川 あ、知ってます。でも、そのときは、僕は旭川に居なくて、実家のある釧路に住んでいました。

久留嶋 私は大学生でしたが、お話を聞きたくて、講演会に行きました。教育大学に通っていたので学生の多くは学校の先生を目指しているじゃないですか。私は入学したときから、グラフィックデザインをやりたいかったのですが、グラフィックの仕事をしている方に会う機会も少なかったし、大学で初めて旭川に来たので、どこでどういう活動をしたら良いのかその場すらわからなかったんです。そういう中で現役のトップクラスのデザイナーのお話を聞いたことは、大きな刺激になりましたね。

司会 竹田さんも教育大学札幌校ですよ。竹田さんは、どういうきっかけでデザイナーを目指すようになったのですか。

竹田 やっぱ、高校から来ると思うんですよ。僕は美術が好きだったんですが、志望大学を決めるのは遅くて、高校3年生位でやっと、美術関係の大学を受験したいと考えました。1年目は失敗したんです。その後札幌で美術大学の予備校に通って、2年目に受かったのが教育大学札幌校だったんです。ちょうど、僕が大学を卒業する位の時にバブルがはじけて就職難になったんです。4年生になってから合同就職説明会などに行くようにして、会社の情報を集めました。それで、たまたま旭川の地図会社でデザイナーを募集していたのが、北海道地図だったんです。僕は、早く学校を卒業して、社会で色々やりたかった。

大徳 小学校のときから図工が好きで、高校のときは美大に行つて絵を描こうと思っていました。でも、親に美大のことを言ったらお金がかかるからと猛反対されて、それで道内で探して、東海大学に入りました。大学に入るまでは家具に興味はなかったのですが、大学にある工房がすっかり気に入ってしまい、今は毎日工房に通って何か作ることが楽しくてたまらないんです。工房で物を作り、講義ではデザインのことを学び、先輩たちと色々やっています。将来はやっぱりデザイナーかな。家具に限らず、生活の中で使う物を作りたいです。



Shun
Morikawa



「大雪カムイミンタラ」ロゴ
マーク募集で最優秀賞を受賞



Yoshiko
Kurushima



旭川で仕事をするか?外に出るか?

司会 就職する地域はどこかにこだわりますか。旭川から出たいですか。

大徳 すっと北海道に居るので、一度北海道を出てみたいです。まずは日本のことを知ってから、いつか海外に留学もしたいです。

高橋 私は教育大学なので、教育実習に行ったら意外と楽しくて、教員もいいかなと。でも、まだ、どんな仕事をしたいか決まっていな感じです。今はとにかく色々やってみようと思って、今回も企画展をしますが、色々やってみて、決めたいなと思っています。

石塚 今の時点では迷っていますが、大きな会社に入りたいとか、安定した職業に就きたいとかより、物を作りたい気持ちが強いです。そうした中でデザインにかかわっていきな。ジャンルにこだわらず、自分の作りたい物を作るという方針は貫いていきなと思っています。大学に入ってから、油絵よりイラストがおもしろいなと思うようになりました。そのあたりから、デザインや物作りに興味が出てきたのかもしれない。

司会 ちなみに、私はライターなので、デザイナーさんに一度聞いてみたいと思ってたんです。この中で、小さなころから絵を描くのが好きだった人はどの位の位の方でしょうか。ちょっと手を上げてみてください。わあ、私以外、この場に居る全員が手を上げていますね。

司会 鈴木さんが、デザイナーを志望するようになったきっかけは?

鈴木 明確にここからというのはないのですが、やはり小学生のときから、何かに挿絵を描いたりすることは好きだった。大学へも行きなかつたのですが、たまたま家の状況が許さなくて、「北海道たき」というデザイン会社の募集があつて、願書を出したら受かつちゃって、そのままデザイナーになつたということかな。

司会 デザイナーの経験がなくても、採用されたんですか。

鈴木 そのときは、自分の描いた絵などを持っていきなました。

司会 あ、今津さんがいらつしゃいましたね。今津さん、カメラマンになろうと思つたきっかけを聞かせてください。

今津 僕はカメラマンになろうとは思つていなかつた。なりなたいのは、映画監督です。そのきっかけは、中学1年生のとき、「レイダース」という映画を見て、こんなにおもしろい映画を自分でも作つてみたいと思つたんです。それで、高校を卒業してから映画学校に入りなました。父親が急死したので、店を手伝うために旭川に戻りなました。



Yuri Ishizuka



旭川冬まつりのメイン雪像をデザイン。また、「ほっかいどうグッドデザインコンペティション」で学生部門の金賞、特別賞を受賞



Hidekuni Imazu



Takaharu Takeda



Kyoko Katsura

旭川のクリエイターって、どうよ?

司会 学生さんのお話を聞くと、特に旭川で就職したいとこだわっている人はいなようですが、旭川には、余り魅力を感じないのでしょうか。

今津 刺激を受けられる環境が旭川にあるか、どうかですね。自分なりに刺激を受けることができれば、それは自分にとって良いまちなのではないでしょうか。もし、旭川に刺激がなくて物足りなないのであれば、刺激を受けるためにどこへ行ってもいいと思う。例えば僕は、映画を見るためにロサンゼルスに行きますが、行きなたいと思つていれば必ず行けるはずだし、そこに住むこともできると思う。

司会 今、スローライフとか言われていますが、色々な経験をした人たちが、旭川でゆとりを持って暮らしていければ理想です。でも、現実的には、なかなか難しいですよ。不況だし。

竹田 そこを充実させるために、地元のクリエイターの力を養うことも、僕は大切だと思つた。

司会 森川君は、カムイミンタラのロゴマークで最優秀賞を受賞したし、石塚さんは旭川冬まつりのメイン雪像をデザインしました。大徳さんと高橋さんは、イベントなどを行っています。そういうものにかかわりながら、旭川でデザインの仕事をしている人たちについて、どんな感じを抱えていますか。

高橋 デザインにかかわっている人たちって、華やかで格好良いイメージがあつたんですが、実際に仕事をしている人たちの話を聞くと、労働条件なんか悪いし、イメージと違つて、大変な仕事だと思つた。

石塚 市内のデザイナーさんの仕事を拝見することが多かつたのですが、皆さん、「お金にならな」「眠る時間がない」とは、言っていました。でも、そう言いながら、それぞれポリシーを持って仕事をしていると感じました。

司会 デザインの仕事は、一般の会社に勤めている人たちとは違つて、何かを表現できる仕事だと思つますか。

今津 もちろん、表現できる仕事であり、表現したいからこの仕事をしているんだと思つます。でも、日々の仕事に追われてるうちに、知らず知らずのうちに自分でクリエイトすることを忘れてしまつて、人に合わせちゃうような仕事をしてしまう怖れがあるんです。そうなつてくると、つまらなくなつてしまつ。最初に自分が考えていた、表現したいという仕事とは違つてきてしまつ。だから、クリエイト魂というか、頑固な部分は失つてはいなないと思つます。

司会 旭川のクリエイターも頑張つています。何かを表現する喜びや、旭川から全国に発信できる手応えなどについて、NEXT世代にもつと伝えていくべきですね。



クリエイターと地域とのかかわりは?

司会 旭川広告デザイン協議会が出来て、今年で16年目です。旭川にデザイナーやコピーライターやカメラマンなどが居ることが認知されて、まちづくりなどにもかかわるようになったのは、ここ数年かもしれません。デザインを通して地域とかわるることについては、石塚さんは、今年の冬まつりのメイン雪像のデザインが採用されました。こういう形で旭川のビッグイベントにかかわる体験をして、旭川に対する気持ちなどで何か変わった点はありますか。

石塚 私は旭川出身なので、旭川にはこだわりがあります。これからも旭川にこだわって仕事をしていきたいと思っています。ですから、冬まつりにデザインが採用されたことで、一つ夢が叶いました。たくさんの方が情熱を傾けて一つのことを創り上げる素晴らしさを、身をもって感じました。

司会 森川さんはどうですか。北海道遺産を紹介する道新の特集にもロゴマークが出ていましたね。これから色々な場面に登場すると思いますが、採用されてどうですか。

森川 すごくうれしい。さっき話が出ましたが、松永 真さんのデザインのすこさは、だれも松永さんがデザインしたと知らなくても生活の中で多くの方が目にしています。それと同じように、このマークが、僕が作ったなんて知らなくても、多くの方が、「あ、あのマークだ」と思ってくれるといいなと思います。

司会 あのデザインの源泉はどんなところにあるんですか。

森川 大雪山の素晴らしさをどうしたら表現できるかをずっと考えていて、大雪の魅力は山だったり川だったり動物であったりと色々ありますが、それを1個1個描いていっても、どれかが欠けてしまいます。それらのすべてを表現するにはどうしたら良いかと考えて、今まで描きためていたイメージを試験的に全部並べてみたんです。あっ、これをまとめたら良いかもということで、まとめたのが成功したんです。

司会 松永さんの所に、このマークを持っていったら?

竹田 でも、松永さんは前に旭川にいらしたときに、美大出身者は勉強しないから採用しないと書いていたよ。

司会 どんな勉強を?

竹田 社会のことや環境のこと、世の中のことすべてですよ。そして、人の役に立つということ。それが前提にないと、いくら自分の好きなことだから認めてくださいと言っても、なかなか認められない。

司会 デザインするということは、単に技術的なことだけではなくて、世の中全体をとらえる能力や感覚が求められるんでしょうね。それだけ、奥が深いということですよ。



竹田さんの手によるユニークな昔の地図をデザインした卓上カレンダー、勤め先の(株)北海道地図のテストが随所に表れた作品です。

どうこい、旭川をおもしろくするぞ!

大徳 最近、デザイン分野の仕事をしている人たちの中で、まちづくりにかかわっている人が多いですね。私も講演会などに行きますが、各分野の人たちが色々頑張っているんだけど、みんなが一つになってまちづくりに取り組まなければいけないと思います。物を作る人は、まちも作れないとだめだと思う。皆さんはこの旭川をどんなまちにしたいと思っていますか。

竹田 自分が住んでいるまちだから、当然、楽しくて元気なまちにしたいと思っています。日常の仕事に流されてしまいがちだけど、頭の隅では、この仕事を通して、まちづくりにどうかかわるかを考えていきたい。僕はラーメンバースに入っていて、少しでも旭川を元気にしたいと思って活動しています。それが実際にまちづくりに役に立っているかどうかはわかりませんが、自分の意志で、利害関係のない仲間と一緒にまちづくりにかかわっていること自体が楽しいんです。一緒にまちづくりを考える仲間というが、ネットワークを作ることが大事だよ。そこからスタートすると思うな。

久留嶋 私の実家のある秋田では、何年前かに芸術系の短大ができたんですが、聞くところによると、短大の教授なんかを役員に招いたりして、学生たちが会社を作っているらしいんです。そういうふうには、どこかでそれがきっかけを作る行動を起こすことも必要だと思います。

鈴木 自分が置かれた場所で、どういう態度でどういう物を選択していくかですよ。

石塚 私は、旭川はつまらないとは思いません。ただ、どこに居ても、自分が行動せずにだまっていたら何も気付かないと思います。自分が行動すると、旭川の良い物がたくさん見えてくると思います。残念なのは、旭川の人は何かにつけて札幌と比べて劣等感を持つこと。田舎者だと思ってしまうとか、もっと自信を持ってほしいです。旭川に住んでいるから、かえって旭川の良さ気が付かないのかな。それはもったいないですよ。

高橋 私の視点からいうと、どうしても札幌と比べて、ライブとか若者が遊ぶ場が少ないと思ってしまいます。実際に高校生が「旭川っておもしろくないよね」と言うのを聞いて、それじゃ、自分たちがおもしろくするために頑張ろうと思って、今回「green」を企画したんです。この企画に参加してくれた高校生たちが、「旭川だっておもしろくできるじゃない」と感じてくれて、旭川に残って色々な活動をしてくれるとうれしいと思います。

森川 私たちが町中で展示会をやっても、人が余り来ないです。旭川に住んでいる人たちが、イベントに対する興味とか、参加しようという意識が、札幌や東京と比べると少ないと思います。

鈴木 旭川に住む若い人たちは、何がしか、私たちが作った広告なり、印刷物を目にしていてと思います。そういう人たちに、旭川は刺激がないとか、つまらないとか言われちゃうと、私たちにも多少は責任があると思っています。そうであれば、これから、旭川の人たちの目を肥やしたり、少しでも刺激を与えられるような仕事ができればと思います。



いま旭川動物園と言えば「今津」と言われるほど知名度がありますが、なんとあの世界の「TIME」に旭川動物園が紹介されました。もちろん photo by IMAZUです。



力を付けて自分のNEXTへ!

高橋 aadcでやっていたポスター展には毎回行っていましたが、そういう展示自体が私には刺激になるので、こういう活動をこれからもやってほしいと思います。

司会 うれしい言葉をいただきましたね。最後に、クリエイターを目指すNEXT世代はもちろん、私たち現役のクリエイターがNEXTに向けてできることは何でしょう。

今津 手を抜かないこと。いつ、どこにどんなチャンスがあるかわからない。そのチャンスが来たときに絶対応えられるように準備をしておくこと。手を抜いていると、知らず知らずのうちにそのチャンスが居なくなってしまいます。だれでも、一生に1度は何かのチャンスが来るといいます。そのときに絶対に逃さないこと。そして、体力だけは付けておいてください。具合が悪くて仕事ができませんでしたという言い訳はきかないから。そして、もう一方で、次の仕事につなげるためには、お金を稼ぐことも大事です。もちろん、若い人は、今はそんなことより、一生懸命に力を付けてください。

司会 NEXTは、自分が決めるのではなくて、第三者が決めるものかもしれません。多分、今日が終わったら明日がNEXTだし、明日が終わったら次がNEXTだし、日々がNEXTです。今、手を抜かないで、力を付けることが、自分のNEXTにつながります。これを、私たち自身への言葉として、この座談会を終わりたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

学生時代を思い出します。4人とも、すばらしい可能性を持っていて、良い刺激になりました。

これを機会に、彼らの展示会に行ってみようと思います。自分も、忘れかけてた夢を実現するのは、いつかではなく、今しかないかも知れませんね。

学生さんへ

社会に出てクリエイターとしてお金をもらうまでは何を聞いても実感はわかりません。

仕事の場合いろいろな条件があるので自分の持ち味を生かせないかもしれませんが、逆にそれはそれほど難しい仕事ではないと思います。

そのうち反対に持ち味を要求された時、多大なプレッシャーと自分自身をさらけ出す節目(チャンス)がやってきます。

その時、自分はクリエイターだと実感できるはずですよ。「やればできる」というより「できるまでやる」と思っています。

座談会を終えて……
学生のみなさんへ

デザインというカテゴリで活躍しようとしている今の若い人たちが、デザインというものを、広告の版下作りとかロゴマークを考えるというようなMacの前に座って作業する平面的な仕事ということではなく、コミュニケーションやアーキテクチャー、都市計画なども含めて広く捉えているところに、ひとすじの光を見たような気持ちになりました。「後はまかせた!骨は拾ってくれ」

様々な方の意見を聞ける貴重な時間でした。

普段いっしょに仕事等々をしていても、なかなか伺えない内容でとても楽しかったです。

また現役学生さんとの交流は、若く純粋なエネルギーにあふれていました。(私もあの頃に戻りたい…なんて思ったり。)

「私もがんばろう。」と気持ちを新にできた気がします。



旭川では貴重なペーパークラフトの仕事をこなす鈴木さんは、その他ミニチュアクレイモラルや各種ビジュアルをコーディネートする達人。今年はaacdのミニマグマの表紙などで素敵なイラストも披露しました。



秋田県出身の久留島さんは、自分の可能性を旭川で試そうと、デザイナーとして活躍している一人です。aacd展では、チーム制作で女性らしい感覚でイメージロゴを作成するなど今後の活躍が期待されます。



Point Party 15th Anniversary

2004.5.8fri
旭川「グランドホテル」

2004年5月6日、総会の後行われた「ポイント・パーティ」。
aadc 15年の節目と、「平成15年度北海道産業貢献賞」
のお祝いも兼ねたパーティです。

2003年11月の受賞から半年余りも経ってからのお祝
いは、いかにも超多忙な(?) aadcらしいじゃあり
ませんか。この賞は、デザイン関係団体では初受
賞ということ。aadcのこれまでの地道な活
動に対する評価であり、デザイン業その
ものの振興と、デザイン業が、商業や
産業の振興を手助けしてきたこと
が評価されたもので、非常な
名誉であることを改めて
かみしめました。



上川支庁や旭川市、札幌のデザイン団体など
の方々も多数ご参加くださって、盛大に祝宴
が行われました。

そして、初代小野会長の後を引継ぎ7年間会
長を務めた伊藤会長が勇退。ドキュメンタリ
ー風に綴った、小野初代会長と伊藤2代目会
長の映像メッセージに続き、矢筈野新会長が
スクリーンを破って登場。このド派手なオー
プニングは、お客様に大受けてした。

BGMには旭川在住のボーカリスト吉田朋代さんのジャ
ズナンバーが流れ、お祝いスピーチをいただきながら、
おいしいお料理と楽しい会話で交流を深めました。
さて、次のPointまで、aadcはどんな歴史を刻んでいく
のでしょうか。

by Takaya Inoue



北海道
産業貢献賞受賞

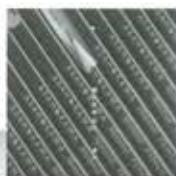


aadc **NEX!!**
a a d c 展 2004 (ネクスト)



第一回aadc展事業部の「部会を行います。」というメールに返信があったのは2名、参加したのは4名というところから、本年度の活動は開始されました。リーダーの佐々木さんが寿引退となり、吉田さんが仕事に忙殺されていたため、なんと私がカンジダイヒョウに××××。経験とはお金に換えがたい価値がある。昔の人は苦勞は買ってでもしろなんて言ったらしいケド、幹事経験ゼロの私にとってはヒトノキモシラナイデなんて考えたりもしました。当初考えていた企画は時間がかかりすぎて没となり、会員の皆さんに迷惑をかけるカタチでスタートした今回の作品展。ドタバタのうちに準備・開始・終了とあいなりました。でも終わって思うことはただひとつ。ホントッに皆様「ありがとうございました」です。

2004.11.23sat~12.5sun
デザインギャラリー



今年度の作品展のテーマは「NEX!!」。
次の目玉となる旭川の魅力を、各チームが表現して競い合いました。
それぞれ趣向を凝らした個性的なポスターやオブジェが並ぶ中、
Cチームの「マイスキー」が見事最優秀賞を獲得しました。



つくづくヒトリデハナニモデキナイということ、学ばせていただきました。普段からモノ作りを生業としている皆様のパワーは、サイコーに熱くて、そしてタフでした。時間のない中でもあれだけのモノを作るなんて。普段一緒に仕事をする機会のない会員の方たちとも、この作品展を通して親交を深められたコトは本当にお金に換えがたい価値がありました。良い経験とはこういうコトを言うのですね。アンケート等に「おもしろかった」「また見たい」「初めて見ました」というコメントが多数ありました。大変でしたが「やって良かった」というのが実感です。最後にもう一度、ホントッに皆様「ありがとうございました」です。PS.チーム制作参加者多数、個人作品参加者34名。会員の出展数は去年の展示会を越えました。会員の皆さん来年度もがんばって! by Tatsuya Sugizaki



旭三ノ川、ハニモデキナイ
毎 森 眠





Yashisuki
Yamazuna



Character

未来への進化をだる、地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、宇宙的な生物アメーバを表現。その中に、古くから欧米では「学問の神様」として扱われ、またアイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせ、架空のキャラクターとした旭川市科学館のキャラクター。いろいろ考えても「科学館」というカたいイメージがあったから、難しくしないで単純にヤフイものとしたのがよかったのかも知れない。名前はまだない。これから何年も長く幅広い人たちに親しまれるキャラクターに育てて欲しいものです。

7月オープン予定の旭川市新科学館の愛称「サイバル」のキャラクターとロゴデザインに、それぞれ、aadc会員である矢筈野義之さんと上田政夫さんのデザインが採用されました。新科学館は、これからの旭川観光の目玉の一つであり、市内外から多数の応募があった中からの採用とあって、aadcとしても誇らしいかぎりです。

サイバル

旭川市科学館

Masao
Ueda



Logo/Type

今から40年ほど前、小学生だった私は当時完成したばかりの青少年科学館クラブに通い、物作りや科学の不思議を体験することに夢中でした。今回のロゴデザインの応募にはそんな昔への思いもあり特別力が入ったようです。採用になったロゴデザインのテーマは「北の空に集う星達」。北の夜空を北極星を中心に回りながら輝く北斗七星をサイバルの文字と一体に構成したものです。子供達やたくさんの人々が未知の世界に驚いたり、物作りの楽しさに感動したりする新しい科学館のシンボルとして、このロゴデザインが活躍することを願っています。



北海道デザインセミナー
三都市デザイン会議スペシャル
あお
SAOH
Asahikawa Obihiro Hakodate & Sapporo
Designers Meeting
サッポロで

2005.1.22sat
道庁赤れんが庁舎2F会議室



1月22日(土)に「北海道デザインセミナー三都市デザイン会議スペシャル」が札幌で開催されました。この日の札幌は雪の激しいあいにくの天候でしたが、会場の道庁赤レンガ庁舎 会議室(赤レンガの中に入ったのは初めてでしたが、天井が高く、歴史的建造物の中での会議はいい雰囲気でした。)にはたくさんの参加者が集まりました。第1部「北海道デザインセミナー」では(財)日本産業デザイン振興会 振興事業部長の田中義信氏をお迎えして、「地方都市におけるデザインのあり方」のお話をいただき、第2部は「北海道デザインの理想に向けて」というテーマで、コメンテーターに田中氏、コーディネーターに渋谷氏、函館・帯広・札幌・旭川の代表の方によるパネルディスカッションということで、各都市でのデザインに携わる熱い思いを語っていただきました。その後、会場を移して「三都市インナーミーティング」これからの三都市についてのフリートーク。同会場で交流会が始まり、豪華な食事とともになごやかに親交を深めたのでした。その日、私は隣に座られた函館のデザイナーの方の「肩こりにはゲルマニウム!」の話を「やっぱりゲルマニウムかぁ」と反芻しながら帰途についたのですが、札幌ではその後も親睦会は夜遅くまで続いていたようです。



Report by Yuko Kato



平成16年度活動報告 Activity report

落込む
懇親会事業部部長
交流懇親会事業部



新会長になり会員の入れ替りも多かった16年度。そんな時こそ懇親会の出番!!と思ったのですが…。降水確率70%を揺潜り、蒸し暑い7/25に開催した動物園での「撮影会&クイズラリー」。撮影の講師は動物園で撮影を担当されている今津大先生。参加者にはカメラ小僧になってもらい、園内をウロウロしながらクイズに答えて頂きました。参加は一般を含めても13名と少数(ガックリ)。ならば!と11/6に開催した「映画観賞会&懇親会」。映画好きが多いaadc会員。秋の夜長に映画を観つつ、夜景と食事を堪能したのでした。しかし、参加は14名。中々厳しいです…。年が明けてややしばらく経った2/19に開催した恒例の「ボーリング大会&新年会」。今回は2人で交互に投球するペアゲーム方式にしてみました。優勝は2位に25ピンの差をつけた一般参加の大杉さん&矢筈野会長ペア。過去の大会で優勝しているのは中村(真)氏と矢筈野氏のみ(多分)の為、今年こそはとペア方式にしてみたものの、やはり強し!!二人を超える逸材は何処??参加人数は19名でした。会員の懇親を深めるため部員一同、知恵を絞って1年間頑張りましたが、あまり関心を持って頂けなかった気がします。これもひとえに部長の力不足と反省しています。来年度は参加者が増える事を祈っております。

MINIMAGMA
一年の活動をふりかえって
広報出版事業部



名作作成にミニマグマ。年間を通して比較的忙しいこの事業部で、一番大変であり、一番思い出に残ったのはビックマグマの特集です。部会を開いてもなかなか決まらなかった特集のテーマ。しかし土壇場で矢筈野会長を始め幹事会出席者の皆さんに助けられようやく「会員とクリエイターを目指す学生の座談会」に決定。そして綱渡りのスケジュールでなんとか座談会を開催。当日aadc会員と対談して下さった学生の方達はびっくりするくらい優秀な方ばかりで、勝浦さんがうまく話を引き出してくれたこともあり、お互いに刺激的な一日となったのではないかと思います。(詳細は本特集頁参照)「学生さんたちのクリエイティブに対する一途な視線がまぶしかったな～。オジサンたちも非常に刺激を受けました。あのころの真っ白な気持ち呼び覚ましてくれたような気がします…。」後に植田部長が発したこの言葉は、座談会で感じた我々の気持ちをうまく代弁してくれていると思います。最後の最後まであぶなっかしい度満点だった広報出版事業部。事業部の皆さんはもちろんのこと、事業部以外の大勢の方の協力を得て、なんとか一年を終えることが出来ました。本当にありがとうございました。



Toshie
Hayashimoto

Under Construction
ホームページ事業部

aadc会員の皆さまに、まずは一言お詫び申し上げます。意気揚々、取り組み始めたホームページですが、多忙を言い訳にのりくらりとしていたところ、この原稿を書いている4月9日現在、未だに「工事中」でございます。この会報が発行され、総会が開催される頃にはテスト状態でのUPが聞の山。予算を計上した事業としては、あるまじき事態と言わざるを得ません。本当に申し訳ありません。これも偏に私の不徳の致すところと、ただ、首(こうべ)を垂れるのみであります。。。さて、ホームページの中身について、少し触れてみましょう。基本的なネタとしては「どんな会なのか」「どんな会員がいるか」「最近の事業や話題」「事務局への問い合わせメールフォーム」程度の簡単なものです。これに触ったこともないFLASHで作ろうとしたのがそもそもの間違いでした。

ただ、このまま逃げるわけにもまいりませんので、引き続き次年度も事業部に残り、責任を全うするつもりです。いや、もう事業部なんかいいりません。私一人でもやります。やらせてください。

Haku Doi

Masato
Nakamura



一年の活動をふりかえって
aadc 展事業部



カタノチカラを抜いて、出来ることをしよう。
そういう合い言葉で今年のaadc展事業部の活動は始まりました。広告デザインに携わるクリエイターの集団はアツイチシオとチノジムトヨクでエイコウをカチエタノです。メダシメダシ。……って、ちょっとおまちなさい。簡単に2行ほどでまとめられるほど簡単ではありませんでした。展示会というイベントは未経験者にはちょっとキツイ内容で、前年度15周年が盛大だった分だけプレッシャーもヒトシオデシタ。
展示会の内容については別項で述べさせていただいておりますのでそちらを参照していただきたい。毎月の部会は積極的にいったとはいえず、幹事や会長をはじめいろいろな方にご迷惑をおかけしました。反省点も多かった「事業部」だと思います。でも部員以下みんなガンバリマシタ。来年度以降のaadc展は事情がありまして部外者とし見守ることになりそうですが、次に行方たちのために不完全ながら資料を残せたことを、ちょっぴりですが恩返しとさせていただきます。



Tatsuya Sugizaki

初めての
受託事業部活動



H16年度からの新規事業である受託事業部は、これまでデザインにかかわる市や他団体からの様々な要請への協力をしてきたaadcが、外部からの依頼に対して窓口を作るということで立ち上がった前向きな事業部である。年度始め早々の依頼は、上川支庁からの「大雪カムイミンタラ」切ロゴマーク公募に関する実行委員。これは前年度から伊藤前会長が協力していたこともあり、数回の「大雪カムイミンタラ」会議とaadcのアドバイスにより全国から寄せられた600通もの応募作品の審査会を経て無事終了。それと同時に進行で発生したのは今年で開催4回目の「神々の遊ぶ庭の音楽会」。こちらは毎年広告に関する協力をきており、今年は満場一致で竹田会員のポスターが採用、チラシ・新聞広告・プログラムを制作した。また音楽会では今津副会長の協力の元、近江会員の大雪の写真が大スクリーンに映し出され、音楽会をより一層意味深いものとした。意外に活動の多かった受託事業部であったが、他団体との交流を通して一つの事業が形になっていく過程を直に触れられたことを喜ぶと同時に、旭川におけるaadcの地位も大きなものだ実感した1年である。

Miwa Matsuda

平成16年度
幹事会報告

2004年5月26日(水)
12名出席 於:デザインたち
平成15年度事業部 会員編成

2004年7月7日(水)
11名出席 於:デザインたち
各事業部事業計画について
「広報出版事業部」「交流懇親会事業部」
「研修事業部」

2004年8月4日(水)
12名出席 於:デザインたち
各事業部事業報告
「広報出版事業部」「交流懇親会事業部」
「研修事業部」

2004年9月8日(水)
8名出席 於:デザインたち
各事業部事業報告
「広報出版事業部」「交流懇親会事業部」
「研修事業部」

2004年10月13日(水)
9名出席 於:デザインたち
各事業部事業報告
「aadc展 NEXT!」実行計画
「広報出版事業部」「交流懇親会事業部」
「研修事業部」

2004年12月1日(水)
4名出席 於:デザインたち
ADA旭川のデザイン展について

2005年2月2日(水)
9名出席 於:デザインたち
各事業部事業報告
「広報出版事業部」「交流懇親会事業部」
「研修事業部」

2005年3月7日(水)
8名出席 於:デザインたち
各事業部事業報告
「神々の遊ぶ庭の音楽会」
「パウハウス・デザインマンスについて」
「広報出版事業部」「交流懇親会事業部」「研修事業部」

2005年4月8日(水)
13名出席 於:デザインたち
各事業部事業報告
次年度幹事会引き継ぎ
総会準備
パウハウス・デザインマンスについて

マガジン発行

2004年5月8日(金)
aadc 会報「ビッグマグマvol.15号」

2004年8月16日(月)
ミニマグマ 63号
POINT PARTY 報告

2004年10月22日(土)
ミニマグマ 64号
交流懇親会
動物園で撮影会&クイズラリー

2004年2月9日(土)
ミニマグマ 65号
2004aadc展
旭川ブランド再発見 NEXT!

平成16年度
各事業部報告

2004年5月8日(金)
■平成15年度定期総会
旭川パレットホテル 18:00~
■北海道産業港顕彰受賞
Point Party
旭川パレットホテル 18:00~
■aadc 会報
「ビッグマグマvol.15号」発行

2004年7月25日(日)
■交流懇親会
動物園で撮影会&クイズラリー
場所/旭川動物園 参加:12名(内、会員1名)

2004年11月6日(土)
■交流懇親会「映画鑑賞会&懇話会」
場所/雪の国 参加:15名
●鑑賞映画/ビッグフィッシュ

2004年11月23日(火)~12月5日(日)
■2004aadc展
旭川ブランド再発見 NEXT!
旭川デザインギャラリー 来場者:429名

2004年12月3日(金)
■NEXT展併催・デザインサロン
場所/コレクション館/アートディレクター 工藤良平氏

2005年2月19日(土)
■スペシャルミーティング
「パウハウス2005」
「旭川デザインマンス」について
場所/デザインたち
■交流懇親会 ポウリング大会&新年会
場所/スガイポウリング場 参加:20名(内、会員16名)

後援・共催
協力事業

2004年4/13~25
■We Love Hokkaidoポスター展(ADA)
主催/ JAGDA、旭川デザイン協議会

2004年12月~2005年1月
■「大雪カムイミンタラ」
ロゴマーク公募仕様書作成協力
依頼/上川支庁地域政策部地域政策課

2005年3月10日(木)
■神々の遊ぶ庭の音楽会(主催:実行委員会)
主催/「神々の遊ぶ庭の音楽会」実行委員会

ADA
関連事業

2004年10/6~10/17
■旭川デザイン協議会展 2004
「カフェのあるデザイン展」

2004年12/14~1/23
■旭川のデザイン展

2005年1月22日(土)
■三都市デザイン交流「サッポロでAOH」
場所/道庁あれんが行舎 2F 会議室



dentsu

株式会社 電通北海道 旭川支社

070-0032 旭川市2条通9丁目旭川道銀ビル6階
Tel 0166-23-4771 Fax 0166-22-1036

地域企業の創造的な活動を支援します

事業内容

施設・設備賃貸事業

インキュベートルームの貸室や研究室、交流サロンまた設備機器類の賃貸

相談・コーディネート事業

企業からの様々な相談に対し、情報提供、アドバイスや研究機関等と連携した支援活動を実施

人材育成・交流促進事業

各種セミナーや就業体験事業など、地域企業のニーズに即した事業の実施

調査・研究開発支援事業

新製品・新技術の開発や新規事業化などを学術機関・試験研究機関等との連携により支援

道北地域産業支援センター

専任のコーディネーターが企業からの様々な相談にきめ細やかに対応いたします。



株式会社旭川産業高度化センター

旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号
☎0166-68-2820 FAX 0166-68-2828
ホームページURL <http://www.arc-net.co.jp/arc/>

アート&デザイン

- グラフィックデザイン専攻
- イラストレーション専攻
- 写真芸術専攻
- CGデザイン専攻

- アニメ・ゲームクリエイター専攻
- インテリアデザイン専攻
- インテリアコーディネーション専攻
- クラフトデザイン専攻
- フラワーデザイン専攻
- 絵画芸術専攻

学校法人 美専学園

北海道芸術デザイン専門学校

〒001-0027 札幌市北区北27条西8丁目 TEL. 011-756-0777

美専学園入学センター ☎0120-5888-96

<http://www.bisen-g.ac.jp> Mobile http://www.bisen-g.ac.jp/mf-mail_center@bisen-g.ac.jp

株式会社 Too 札幌支店

札幌市中央区南一条西5-5 講談社ビル2F 〒060-0061
Tel (011) 241-5431 Fax (011) 242-3035

<http://www.too.com/>

みらいから始まる。



株式会社 みらいプリンティング

MIRAI PRINTING Co.,Ltd.

- 本社・工場/〒071-1298 北海道土川郡豊帆町2962番361旭川豊帆インター流通団地 TEL:0966-59-3333/0
- 札幌支店/〒060-0007 北海道札幌市中央区北7条西13丁目119-1 塚本ビル67号新2F TEL:011-281-6666
- 千葉営業所/〒280-0001 千葉県千葉市中央区郡崎2丁目25番29号 TEL:043-294-4777

■ <http://www.mirai-prt.co.jp> ■ E-mail: comet@mirai-prt.co.jp

DO.

クリエイティブ集団
Design office ONO

●主な仕事●

地域活性化計画、立案及び実施/イベントに関する企画、立案、及び実施
広告に関する企画、立案及び実施/新商品に関する企画、立案制作販売
マーケティングリサーチ/講演会企画・プロデュース

株式会社 デザインオフィス・オノ

〒078-8812 旭川市緑が丘南2条2丁目1-5
FAX 0166-60-7222 FAX 0166-60-7223

携帯/090-3776-8513

E-mail: do_ono@d1.dion.ne.jp

ニヤッ!グッ!ピン!
エッ!オッ!ヘエ~!
ジーン...フムフム...
広告に「!」と「...」を。

有限会社 デザインピークス

旭川市3条通8丁目 緑樹ビル1号館 4階 tel.0166-22-4771 fax.0166-24-9644
電通北海道旭川支社 Office/旭川市2条通9丁目 旭川道銀ビル 6階 tel.0166-23-4776 fax.0166-22-1036
札幌 Office/札幌市中央区南2条西12丁目クリスタルビル 87-204 tel.011-200-4771 fax.011-200-4772

novello

TOTAL COMMUNICATION

ADVERTISING COMPANY
 NEWSPAPER/TELEVISION/RADIO/MAGAZINE/MULTI MEDIA
 DESIGN & PLANNING / EVENT PRODUCE/CI/VI

SAPPORO / ASAHIKAWA / HAKODATE / OBIHIRO / KUSHIRO

〒070-0031 1jo-dori1chome Hidan1go,Asahikawa TEL0166-24-5285
 〒060-0052 Minami2jo-Higashi3chome,Sapporo TEL011-261-6631
 〒040-0061 Villa-Kaigan-cho1F,Kaigan-cho12-13 Hakodate TEL0138-40-313
 〒080-0017 Toetto-Doni Nishi7jo-Minami22chome,Obihiro TEL0555-22-7606
 〒085-0018 Kushiro Kurogane-choMK4b6F,Kurogane-cho11chome2-1,Kushiro TEL054-31-2141

デジカメプリント

技術を売る写真の専門店

カラー工藝社

本店/旭川市4条8丁目 ☎0166-26-1827 FAX0166-26-1838
 永山パワーズ店/旭川市永山12条3丁目 ☎0166-46-2700

ホームページアドレス www.shasin.co.jp

sign design display



藍工房
 株式会社 藍工房
 〒070-0027
 旭川市追分町22丁目2746番地0
 Tel.0166 51-8666 Fax.0166 54-8668

商業施設
 展示スペース
 イベント会場

空間演出
 造形物設計
 展覧計画
 屋内外意匠

立体デザイン
 パース
 ワークスルーレン
 設計・企画・施工



AUDIO SOUND
 VIDEO VISUAL
 DVD-R CD-R
 ZYU PLATE
 【化学事業部】

株式会社 ウエイブ



〒070-0054 旭川市4条西7丁目 四葉西ビル3F TEL0166-22-8226 FAX 0166-24-0401
 URL: <http://www.wavy.co.jp/> Mail: wavy@wavy.co.jp



CHAIR? GALLERY

コレクション館
 チェアーズ・ギャラリー

家具の中でも特に椅子はデザイナーや建築家の創作意欲をかき立てる魅力的な対象物であり続いています。今期のチェアーズギャラリーは織田コレクション及び北海道東海大学所属の世界の名作椅子の中から、独創的なアイデア・遊び心の感じられる個性的な椅子たちを展示しています。(年に2回テーマに沿った椅子を展示) 只今、「遊び心を持った椅子たち」開催中(8/1まで)

〒070-0030 旭川市宮下通11丁目 上川倉庫「蔵園夢」内
 TEL 0166-23-3000・FAX 0166-23-3005
 開館時間/5月~10月:10:00~18:00・11月~4月:11:00~17:00
 休館日/毎週月曜日 入場無料
<http://potato.hokkai.net/~sda/gallery/index.html>

こころを、育む

時代を動かすチカラは、感動。
 感動を生み出すチカラは、コミュニケーション。

私たちは地域の一員として、
 ころころが触れあう、
 あったか〜いコミュニケーションを目指します。



TOTAL PRINTING

株式会社 **須田裁版**

E-mail sudaasahikawa@sage.ocn.ne.jp

旭川市忠和5条8丁目3番1号

☎(0166)62-2266

本社/札幌 釧路・苫小牧・滝川・東京・埼玉

ONEDREAM PICTURES

(有) ワンドリームピクチャーズ

代表 今津秀邦

旭川市永山12条3丁目 TEL0166-46-2700 (カラー工藝社内)

小さな出会いを 縁(えにし)につなぐおもてなし

人と人。人と街。どんな縁も、
はじめは小さな出会いから始まります。
だから、一つ一つの出会いを一生一度と心得て、
二度とない今に心をつくし確かな縁を結びたい。
それが、「一期一会」。
北海道富士興業グループは、“今”に打ち込む厳しさと、
40年間育てていただいた、この街の人々に感謝の心で
2005年を歩んで参ります。

2005年北海道富士興業グループ40周年記念コンセプト

一期一会



4 Thanks

おかげさまで40周年
記念号
■東エスタートリハーク
ベル・コート泉山

北海道富士興業グループ

心ふれあう街づくり
北海道知事免許 上川(12)第93号

北海道富士興業(株)

- 本社 / 旭川市3条通19丁目
☎31-6111
- 中央店 / 旭川市5条通8丁目
- 企画室 / 旭川市3条通19丁目

不動産活用Fック北海道知事免許 上川(8)第525号
不動産投資顧問業・国土交通大臣(一般)第666号

(株)富士管財

- 本社 / 旭川市5条通8丁目
☎22-6060
- 管理部 / 旭川市3条通19丁目
- パワースα管理室 / 旭川市永山11条4丁目
- あさひかわラーメン村事務局 / 旭川市永山11条4丁目

不動産のお世話係
北海道知事免許 上川(1)第1036号

リアルターアップル(有)

- 本部 / 旭川市2条通19丁目367番地
☎37-4337
- 2条店 / 旭川市2条通19丁目367番地
- パワース店 / 旭川市永山11条4丁目120-36
- 高齢者入居相談部 / 旭川市2条通19丁目367番地

安心情報No.1
北海道知事免許 上川(7)第660号

(株)リアルター

- 本部 / 旭川市2条通19丁目
☎32-4337
- 開発部 / 旭川市5条通8丁目

MAGMA
vol. 16
発行 / 旭川広告デザイン協議会
発行責任者 / 矢野野貴之
平成17年4月22日発行
旭川広告デザイン協議会報
aadc
ASAHIKAWA
ADVERTISEMENT
DESIGN
COUNCIL
事務局 / デザインたっぴ
旭川市東4条4丁目1-15
TEL 0166-26-6850 FAX 0166-26-6864